

笑顔と誇りを未来へつなぐまち 飯南

IINAN

い-なん

2025

6

No.246



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

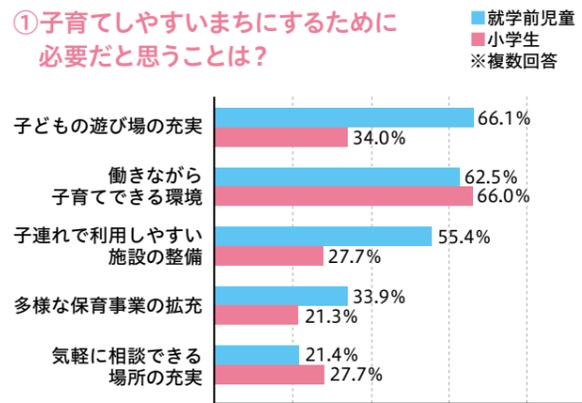
あります 飯南町

特集 1人じゃないよ「チーム育児」

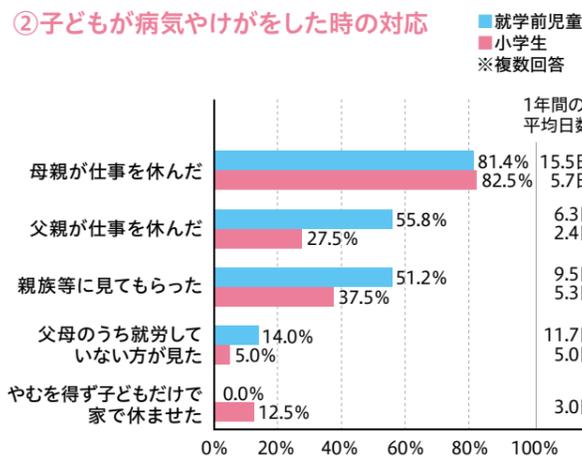


きれいなお花、見つけたよ
(東三瓶フラワーバレー)

①子育てしやすいまちにするために必要だと思うことは？



②子どもが病気やけがをした時の対応



飯南町就学前児童及び小学生児童保護者対象アンケート調査(令和6年2~4月実施)

病児・病後児保育施設「ぱぷりか」利用案内

児童が病気にかかっている、または回復期にあって安静にする必要があることから、保育所や小学校を休む必要があり、家庭での看護が困難な場合、一時的に児童を預かります。

- 施設名称 飯南町病児病後児保育施設 愛称「ぱぷりか」
- 場所 飯南町頓原2084番地4(頓原町民プールの隣)
- 開所日時 月曜日～金曜日 8時～18時
- 休業日 土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、12月29日～1月3日
- 利用定員 2人
- 利用料 児童1人あたり1日1,000円(生活保護世帯は無料)
- 利用対象者 生後6ヵ月から小学校6年生までで、事前に医師が病児・病後児保育の利用に適応すると判断した児童

利用申請方法など詳しくはホームページをご覧ください。



「ほとんどの自治体に病児対応の保育施設がある。体調が心配な子どもを安心して預けられる場所が、飯南にも必要だと感じました」と松田さん。開始して間もない病児・病後児保育。利用を躊躇する人もいるのでは、と松田さんは感じています。「子育てで大事なのは一人で抱え込まないこと。時には誰かを頼ることも大切」と松田さん。困った時は、短時間でも利用してほしいと呼びかけます。



松田さんが声をかけると、子どもたちも笑顔に

「今の子育て世代はサポートしてくれる身内も少ない。親が抱える不安感を周囲が理解することが、子育てしやすい環境につながるのでは」と続けました。

仕事を休む罪悪感、頼れる人がいない孤独感。子育て中の誰もが、そんな苦しさや不安を感じたことがあるのではないのでしょうか。アンケートによると、子育てしやすいまちに必要なと思うこととして、就学前児童・小学生児童の保護者ともに多い要望は「働きながら子育てできる環境」。子育てに奮闘する親の心に寄り添いたいと願う「ぱぷりか」は、働くお



父さん、お母さんの拠り所になっていくのではないのでしょうか。

特集
「1人じゃないよ」
チーム育児



共働き世帯の増加など社会環境の変化の中で、子育て中の親の育児負担や不安感は増加していると言われています。みんなで子育てをサポートすることで、親子ともに安心して暮らせる「子育てしやすいまち」を目指す取組を紹介します。

今年度から開所した病児・病後児保育施設「ぱぷりか」。5月17日に施設見学会を開催し、続々と親子連れが参加しました。保護者が設備や利用方法などを尋ねる傍ら、子どもたちは遊びに夢中に。「まだ遊びたい」「ここなら病気の時も来たい」と、子どもたちの賑やかな声が響いていました。

安心して預けられる場所をつくる



お母さんたちと仕事の様子などについて話す森口さん

「ぱぷりか」の職員として勤める森口由美子さん(上赤名)。看護師として、自身も仕事と育児の両立に励んできました。「子育て中に、『普段仕事で離れてるんだから、子どもが病気の時くらい見てあげて』と周りから言われたことがある。でも仕事を休むのも限界がある。

病児・病後児保育が当たり前存在に

同じく「ぱぷりか」の職員として勤務する松田礼子さん(小田)は、雲南市の病後児保育併設型の保育所で長年所長を務め、病児保育の経験や知識も豊富です。雲南市の病児受入施設がすぐ定員に達することから、「病児・病後児保育へのニーズの高さを感じていた」と言います。

誰かが助けてくれる場所があればいいのにと思っていたんです」と森口さん。自身の経験から、子育て中の人を少しでも支えたいと、病児・病後児保育に携わることになりました。仕事と子育ての両立で慌ただしく過ごした日々。「自分の気持ちに余裕があれば、もっと子どもを見てあげられたんじゃないか」と自身の子育てを振り返る森口さん。困ったら「ぱぷりか」を頼ることで、親子がゆったりと向き合える時間が作れるのではと話します。体調の悪い児童を受け入れる病児・病後児保育。森口さんは看護師として、小児の医療ケアについても学びたいと言います。「子どもは病状が急変することも多い。安心して子どもを預けられ、子どもも不安なくお迎えを待つ。『ぱぷりか』をそんな場所にしていきたいです」。

01 病児・病後児保育はじまる

待ちに待った、待望の病児・病後児保育



●未就学児2人のお母さん
子どもの急な発熱で仕事を休みがちに。職場で肩身の狭い思いをしていたので、病児・病後児保育を待ち望んでいました。親として、子どもが病気の時はそばにいたい。でも、できない時がある。頼れる身内も近くにいないので、頼れる場所ができたことが嬉しいです。

子どものため、自分のため



●未就学児3人のお母さん
子どもの体調が少し心配な日も、仕事を休まず保育所に預けていました。出勤後も、子どもに無理をさせている罪悪感が消えず、保育所から「お迎えに来てください」と電話があるかもしれない。ハラハラしながら仕事をしていました。今後は体調が心配な日は「ぱぷりか」に預けようかと。子どもにも無理をさせなくていいし、安心して仕事に向かえます。



「ほっとCafé」では年9回の食講座を開催しています。
 5月21日のテーマは「離乳食と赤ちゃんの発達」。町の管理栄養士から、赤ちゃんの視界や口の動きなどを学びました。
 参加者が互いに離乳食を食べさせ合う体験では「しっかり食べてほしくて、口に深くスプーンを入れていたけど、逆に食べづらい」「金属のスプーンの舌触りが苦手。子どももそうかも」と、日頃の食事を振り返っていました。
 「離乳食を食べてくれず、困ることもある。こういう機会に他のお母さんにコツを聞いたり、栄養士さんにアドバイスをもらったりしています」という参加者の声も聞かれました。

母親の8割が悩む「離乳食」

02 | 子育て支援センター「ほっと。Café」



子どもたちの元気な声が聞こえてきます

開催案内

子育て支援センター「ほっと。Café」

子育て中の保護者や妊娠中の方の交流の場。保育士や看護師がおり、子育ての相談もできます。お弁当の日や、季節ごとのイベントも計画。ほっと一息つける時間を一緒に過ごしませんか。

7月のイベント

- 七夕おたのしみ会
お弁当の日
●日にち:2日(水)
お弁当を注文し、みんなでランチを楽しみます。
- 水遊びの日
●日にち:16日(水)・23日(水)
プールを出して水遊びをします。

- 開催日 毎週火、水、金曜日(祝日を除く)
- 時間 10時~16時
- 会場 来島保健センター(飯南町野萱1826番地2)
- 対象 ・0歳から小学校就学前の児童とその家族
・妊娠中の方

問合せ・申込先 飯南町子育て支援センター ほっと。Café ☎090-7168-8228



詳しくはホームページへ

子育て世代食講座

離乳食の進め方や調理方法を確認したり、子どもの食について相談する場として開催。大人の食生活改善の機会にもなっています。

- 会場 来島保健センター
- 開催時間 10時~11時30分



開催日	テーマ	形式	内容
7月30日(水)	食べづらい食品の工夫	調理実習	離乳食が進みにくいのは食べづらさが原因かも。子どもの口の発達と食品の特性に応じた工夫について、調理しながら学びます。
8月27日(水)	おやつづくり	調理実習	お手軽! 栄養満点! 子どものおやつを一緒に作ります。
10月1日(水)	だしの飲み比べ、塩分	体験・講義	離乳食の味付けの基本は“だし”。だしの取り方や、食材による味の違いを体験します。
11月19日(水)	食材コンプリート	調理実習	離乳食で多いのが「この食材どう調理したらいい?」「ほかの食材どう合わせたらいい?」という悩み。皆さんの疑問に合わせて、一緒に調理しながら学びます。

※12月以降のテーマや内容は、お問合せください。 **問合せ・申込先** 保健福祉課 ☎72-1770
 ※開催日の1週間前までに申込みください。



参加申込フォーム

誰かと話せる安心感

出産後は外出の機会が減り、自宅に閉じこもりがちになることも。子育て支援センター「ほっと。Café」は、保護者が子育ての喜びや悩みを共有できる場です。
 「病院はどこに行く?」「離乳食の食材はどこで買う?」と話題は子育ての情報交換に。悩みを話す、「うちもそうだよ」と共感し合えることも、保護者にとっては心強いのではないのでしょうか。
 「ほっと。Café」では保育士や看護師



夢中で遊ぶ子どもたち



お友達と一緒におもちゃで遊びます

身近な遊び場

子どもを遊ばせるため、町外のショッピングモールや児童館を利用するという保護者も。こうした声を受け、週1回開催の「ほっと。Café」を、6月から週3回開催し、開館時間も大幅に拡充。遠方に出かけなくとも、安心して遊べる環境が整いつつあります。
 が子どもたちを見守ります。気になったことをすぐに相談できる場所となっています。



子育てについての情報交換の場にもなっています



谷公民館が主催する「人権学習+α」が、谷笑楽校で開催され、親子連れで賑わいました。紙芝居作家のよしとさんが、「人権」をテーマにした紙芝居を上演。参加者も一緒に歌ったり、親子で体を動かしたりしながら、人権に対する学びを深めました。

続いて、鳥根県レクリエーションインストラクターの流水真理子さんを講師に、親子でふれあい、思いやりを育む体操も体験しました。

会場には、谷老人クラブによる「昔のあそびコーナー」もあり、子どもたちの賑やかな笑い声が響いていました。



楽しく人権を学ぼう
人権学習+α



よしとさんのパフォーマンスに見入る参加者

5.31
土

谷自治振興会主催の水ようカフェ「みそづくりワークショップ」が谷笑楽校で開催されました。

参加者は、発酵食品に詳しい大上祥子さん（角井）と一緒に味噌仕込みを体験。熟成力の強い生麹や天然塩など、こだわりの素材で仕込む味噌に、「できあがり待ち遠しい」と声があがりました。

大豆を蒸す時間を利用して、味噌を使った炊き込みごはんやドレッシングなどを作り昼食に。味噌を通して、発酵食品について学びを深める機会となりました。



味噌づくりと発酵食品を学ぶ
てまえみそのみそづくり
ワークショップ



県外からも参加者があり交流を深めました

5.31
土



鮮やかなポピーに見入る来場者



夢中でヤマメを追いかける子どもたち



鮮やかなポピーの花に囲まれ
第32回ポピー祭

「第32回ポピー祭」が、東三瓶フラワーバレーイベント広場で開催されました。

メインステージは、頓原中学校吹奏楽部の演奏や、地元志津見在住の安部さんがポーカーを務める「安部ひかる」の公演などで盛り上がりました。

会場には、地元出店者などの飲食店がずらりと出店。やまめのつかみ取り、モデル写真撮影会にも長い行列ができていました。

志津見ダム湖巡視艇乗車やダム見学会も人気を集め、会場に訪れた約5500人の来場者は、思い思いにお祭りを楽しんでいました。



さだ須佐太鼓の迫力ある演奏

6.8
日



うやま農園（頓原）で、アイガモ農法のためカモを田んぼに放す「カモしゃん入田式」が行われました。この企画は、農林業体験や自然文化に触れることを目的とした「しまね田舎ツーリズム」の一環として、うやま農園が企画し、小才田地区が運営。県内外から26人が参加し、野鳥からカモを守るためのテグスを張る作業や、アイガモのヒナを田んぼに放す作業を行いました。

作業の後は、アイガモ農法で育てたごはんや、サツマイモの振る舞いもあり、参加者は飯南町の自然と食を満喫していました。



アイガモのヒナを田んぼへ
カモしゃん入田式



作業の間も子どもたちは愛らしいカモのヒナに夢中

5.17
土



安心安全に暮らせる地域づくり
声かけ訪問隊に
雲南地域防犯連合会表彰

志々地区の地域づくりに取組む「わっしょい！志々会」の活動の一つである「声かけ訪問隊」が、雲南地域防犯連合会長及び雲南警察署長の連名により表彰されました。

声かけ訪問隊は平成27年に活動を開始。住民ボランティアと社会福祉協議会、駐在所などの協力団体が連携し、高齢者世帯などを毎月訪問しています。

訪問先では、健康状態や困り事などの近況を確認。必要があれば、速やかに行政機関やご家族に情報提供を行います。

藤原裕代表は「長年活動してきた住民ボランティアの皆さんに頭が下がる思い。今後も長く活動を続けていきたい」と語りました。



雲南警察署での表彰式に出席した藤原裕代表（前列左）

5.22
木



からだと頭とこころの運動
おやこ運動教室

来島公民館主催の「おやこ運動教室」が来島地区こども広場で開催されました。

講師は影山寛美さん（下来島）。影山さんは運動療法に必要な知識や技術を習得した、健康運動看護師でもあり、参加者に効果的な運動方法などを伝えました。

参加者は、足裏や手の平に絵の具を塗り、思い思いの足形・手形アートを作成。身体機能の向上や、けがの予防にもつながるため、足裏の感覚を鍛えることが目的です。

はじめは慣れない裸足に悲鳴を上げていた子どもたちも、絵の具の感触を楽しみながら、作品づくりに夢中になっていました。



課題研究に取り組む中高生もスタッフとして参加し子どもたちとの交流を楽しみました

5.31
土



カラオケやおしゃべりで交流を
オレンジカフェ赤名峠

認知症に関する情報交換や相談ができるオレンジカフェ赤名峠が、上赤名会館で開かれました。

当日は、オレンジカフェいずもの運営に携わる方や、認知症の家族がいる方などが参加。オレンジカフェを知ったきっかけや認知症のことを話したり、カラオケや体操をしたりして楽しみました。

オレンジカフェ赤名峠を主催する、赤名峠有限責任事業組合の半田眞道さんは「町内外を問わずどなたでも参加できるので、気軽に来てもらいたい」と話しました。オレンジカフェ赤名峠は、毎月第4土曜日に、上赤名会館で開催されます。



体を動かしてリフレッシュ

5.24
土



ハザードマップを見ながら注意場所を確認

出水期を前に、大雨、洪水、土砂災害を想定した防災訓練を実施しました。

全国各地で、これまで経験したことのないような豪雨による大規模な災害が発生しており、町と住民、関係機関が連携し、災害時に適切に対応できることを目的としています。

当日は、住居や避難施設などの安全性の確認、住民の避難訓練などを実施。その後地区ごとに、災害時に警戒すべき場所の確認や、災害時に必要となる備えなどを話し合い、防災に対する意識を共有しました。

飯南町防災訓練を実施

6月1日



職員に業務の様子を質問する見学者

大規模改修が完了した飯南消防署で、庁舎の一般公開が行われました。

来場者は、消防署職員の案内のもと庁舎を見学。訓練や出動準備の様子など、日頃の業務について熱心に説明を聞いていました。

はしご付き消防車など消防車両の展示には、子どもたちから歓声が。来場した児童は、「将来消防士さんになりたい。消防士さんの仕事場が見れて楽しかった」と話していました。

大規模改修では、仮眠室の個室化、食堂の改修、女性職員専用浴室などを整備。職員の勤務環境が改善されました。

飯南消防署庁舎一般公開

5月31日
6月1日



消防功労として瑞宝双光章を受章

令和7年春の叙勲において、澤田秀樹さん（上来島）が、瑞宝双光章を受章されました。

澤田さんは、昭和49年に赤来町消防団に入団してから、49年4カ月間、消防団活動に取り組まれました。平成28年1月の団長就任後は、陣頭に立って常に冷静に団を指揮。土砂災害で国道54号が通行止めになるなどの被害が発生した令和3年7月豪雨では、住民の安全確保に尽力されました。

永年にわたり、消防の発展に貢献してこられたことで、このたびの受章となりました。

令和7年春の叙勲

地域おこし協力隊

●杉山 弥衣

（業務）飯南町観光協会担当

はじめまして。6月から地域おこし協力隊として飯南町に来ました。杉山です。初めての場所なので色んなことを知っていただけると思っています。よろしくお願います。

6月1日付け

地域おこし協力隊

●大日方 龍

（業務）飯南高校支援担当

自分自身が飯南高校生だった経験を生かして、高校生の悩みを解決したり、生徒の成長を手助けしたりできるように尽力していきたいと思っています。

新入職員を紹介します

5月1日付け

飯南病院 看護師

●石津 朱理

飯南病院に勤めていたことが縁があり祖父母が住む飯南町で勤めることとなりました。至らない点も多いと思いますが、温かい目で見守っていただけると嬉しいです。宜しくお願いします。

姉妹病院協定10周年記念交流会を開催

5月17日



左から久美浜病院 赤木院長、塚原町長、中山市長、飯南病院 角田院長

京丹後市立久美浜病院 飯南町立飯南病院 姉妹病院協定10周年記念交流会を、京都府京丹後市で開催し、これまでの10年にわたる交流の歩みを共に振り返りました。

この姉妹病院協定は、平成27年2月14日に締結。本町と京丹後市の地域医療の充実と、保健・医療・福祉の連携を深めることを目的としています。

これまで、本町での地域ケアフォーラムの開催や、久美浜病院での院内学会を通じて互いに知見を共有するなど、地域包括医療・ケアを支える関係者が立場を越えて交流を続けてきました。

今後も、地域社会の維持に向け、さらなる情報共有や連携を進めていきます。

大しめ縄用の田植え行事を実施

5月22日



大しめ縄奉納へ向けはじめの一步

出雲大社神楽殿の大しめ縄の稲わらを育てる水田で、田植え行事を行いました。

当日は、丸山県知事、出雲大社宮司の代理として喜和田禰宜を来賓に迎え、大しめ縄の材料となる赤穂もちの苗を手植え。神楽殿の大しめ縄は、来年夏に8年ぶりの架け替えが予定されており、この田植え行事を皮切りに大しめ縄の制作が始まります。

町は、大しめ縄の制作にあたる飯南町注連縄企業組合と連携し、架け替えに向けた取組を支援していきます。

市場橋架け替え工事完了

5月23日



保育所児童や介護施設の皆さんも一緒ににぎやかな渡り初めに

河川改修にともなう神戸川の市場橋架け替え工事が完了し、塚原町長が赤名保育所児童と渡り初めを行いました。

洪水で家屋などへの浸水被害を防ぐため、現在、神戸川では河川改修事業が進行中。河道の拡幅、護岸の整備などを行うことにより、洪水時の水量を安全に流すことのできる川幅を確保し、浸水被害を防ぎます。

残る工事は市場橋下流の堰と護岸改修で、令和9年度中に全ての事業が完了する見込みです。

ミシガン州立大からの留学生と国際交流

5月29日
30日



飯南高校での授業の様子

本町が取り組む「みらい人材育成事業」の一環で、町内の児童生徒が、島根大学に留学しているミシガン州立大学の学生13人と交流しました。

この事業は、児童生徒の異文化への興味・関心を高めることなどを目的に、島根大学の協力のもと実施。留学生は来島小、赤来中、飯南高を訪問しました。

留学生と児童生徒は、英語と日本語を交えて交流。授業のほか、給食や掃除なども一緒にを行い、交流を深めました。

今後も本事業を推進し、世界を舞台に活躍できる人材を育成していきます。

healthycolumn
健康コラム
保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

**飯南病院
便り**



飯南病院
副院長
黒谷 一志

自然豊かな飯南町でランニング!

飯南町の皆さん、こんにちは! 4月から飯南病院で勤務しております。黒谷一志と申します。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。松江市出身で、高校は松江南高校、大学は自治医科大学の出身です。角田院長は大学時代の先輩で、その縁もあってこの度飯南病院で勤務させて頂くこととなりました。

現在医師21年目で、こちらに来る前は西ノ島町の隠岐島前病院で勤務していました。邑智病院での勤務経験もあり、地域の自治体病院での勤務経験を生かして、飯南病院だけでなく、飯南町全体の医療保健福祉に貢献できればと思っています。

さて、今回は「健康コラム」、とのことで、自分自身の事とからめて何か書くことができると考えたのですが、生来無趣味で、好きなものもお酒やおいしいものと健康とはほど遠いのですが、一つだけ健康のためにしていることがあります。それは15年前くらいから始めた「ランニング」です。といっても、数か月続けて

は数か月休んだり、寒さ暑さや花粉症のせいにしてしばらく走らなかつたり、といった”ものぐさランナー”で、ここ半年くらいも走っていませんでしたが、自然に囲まれた飯南町に来て、「走りたい!」という感情が湧き上がり、4月下旬ころからまた走り始め、奇跡的に続いています。仕事終わりで時間のある時や休日に、飯南町の自然の匂いを浴びながら走っています。

体にとっても、減量効果はもちろん、自然を眺めながら走る事でストレス解消にも繋がります(なので私はジムなどではなく、自然の中を走る派です)。

これからも飯南町の四季を感じながら、無理なく続けていきたいと思えます。そして走るからには目標も立てたいと思えますが、今年の目標として、12月7日に開催される”国宝松江城マラソン完走!!”を掲げたいと思えます!ここで発表してしまったので、ものぐさにならずに継続して頑張ります!



2023年10月西ノ島ハーフマラソンに参加した時の写真

**保健福祉センター
便り**

8020・7022・6024 よい歯の表彰式をしました!

よい歯の表彰は、生涯を通じた歯と口の健康づくりを啓発・推進し、口腔ケアの意識向上が目的です。

3月28日(金)に役場本庁舎で表彰式を行い、表彰者の皆さんと町長、飯南病院歯科口腔外科の三上隆浩先生を交えて意見交換会をしました。

令和5～6年度の表彰者

- 島根県の表彰：8020の部 2人
- 飯南町の表彰：7022の部 11人
6024の部 7人

お口の健康づくりは、糖尿病や心臓病など体全体の病気、要介護状態や認知症など様々な病気の予防につながります。高齢者に限らず、子ども、若いうちから

口腔ケアを始めることが必要です。まずは、普段からのお家でのセルフケアと合わせて、かかりつけ歯科医を持ち、一緒にお口の健康づくりを実践していきませんか?



表彰式に出席されたみなさん。前列左から松浦重富さん(真木)、高橋英次さん(赤名)、澤田郁子さん(下赤名)



みんなで作る!
笑顔あふれる飯南暮らし

「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取組まれている活動を取り上げていきます。

第2回 防災意識を高める

6月10日(火)に来島交流センターで、来島ビジョン推進会議が主催する防災研修会が開催されました。参加者は来島地区の住民を中心に18人。研修会では雲南消防本部から地震対策について、町社会福祉協議会からは能登半島地震の災害派遣についての講話があったほか、地震体験車(起震車)による地震体験がありました。起震車で震度7の揺れを体験した参加者は、机の下に隠れ机の脚を強く握りしめていましたが、「とても立ってられない。耐えるので精一杯」と揺れのすさまじさを実感していました。

来島ビジョン推進会議会長の藤原賢一さんは、「防災意識を高めるということは、第一に自分の命を助けるということにつながり、助かった命は共助という支え合いの力になる。来島ビジョン推進会議では毎年防災研修会を開催している。研修や訓練で地域や個人の防災意識を高めていくことはとても大切」と話していました。

飯南町でも平成30年4月に大きな地震があったことを覚えていますか?令和3年7月に大雨が降ったことを覚えていますか?災害は忘れた頃にやってきます。あなたの地域の備えは万全ですか?



必死に震度7の揺れに耐えています

地域で防災研修してみませんか?

自治区や自治会・組で「防災訓練や研修会を実施したい」などの要望がありましたらご相談ください。

問合せ
防災危機管理室 ☎76-2211

つながるまち 広がる絆 ~姉妹都市・友好交流都市~

都市農村交流の架け橋に

飯南町は、兵庫県伊丹市と姉妹都市、長崎県大村市と友好交流都市の協定をそれぞれ結んでいます。今年は伊丹市と昭和55年の提携から45年、大村市と平成27年の提携から10年の節目の年になることから、これを記念して10月18日に飯南町で式典を開催します。



大村市
人口約10万人、面積約127km²。海に面したまちで、標高約1000メートルの山もある。海上空港の長崎空港がある。伊丹市が大村市と姉妹都市関係にあったことが提携のきっかけ。

伊丹市
人口約19.5万人、面積25km²。大阪市から約10kmと近く、地形は全体に平坦。大阪国際空港(伊丹空港)がある。標高は最高45メートル。伊丹市に本社のある企業の旧頓原町への進出が提携のきっかけ。

5/31~6/1 佐見地区と伊丹市の農村体験交流

今年の参加者は大学生や高校生など11人。中には小学生の頃からの参加者もあり人気の交流会。秋には同じ田んぼで稲刈り体験もある。



5/30~6/1 おおむら花菖蒲まつりに参加

毎年、5月末~6月初めに開催される「おおむら花菖蒲まつり」に参加。訪問団による交流のほか、物産展に出店し特産品をPR。今夏は本町の子ども達が長崎県を訪問するツアーを開催。



サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)
サマージャンボミニ同時発売

ネットでも買える！
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円
7月11日金発売!
発売期間 7/11(金)~8/11(月)

宝くじ公式サイト 公益財団法人 島根県市町村振興協会

放送大学10月生募集

放送大学は、令和7年10月入学生を募集しています。

●**授業形式**
BS放送、インターネットで視聴、講師から直接受ける授業の3つの形式があります。

【**入学説明会・相談会(出雲会場)**】

●**日時** 7月6日(日)・8月24日(日) いずれも13時から

●**場所** 出雲中央図書館(出雲市大津町1134)

●**問合せ** 放送大学島根学習センター
☎0852-28-5500

太陽光発電などの新エネルギー導入を支援

温室効果ガス排出の削減を図ることを目的として、太陽光、木質バイオマスなどの新エネルギー設備導入に対し、費用の一部を補助します。

●**補助対象事業**

- ・住宅用太陽光発電設備の設置
- ・木質バイオマス熱利用設備の新規設置
- ・太陽光利用設備の設置
- ・蓄電池設備の設置

●**対象者**
町内に住宅(店舗、事務所等との兼用住宅含む)を所有または所有する予定で、**未使用**の新エネルギー設備を設置する者のうち、次の要件を全て満たす人

- (1)これまで新エネルギー設備導入促進事業補助金を受けていない人
- (2)令和8年3月末までに設置工事が完了し、稼働できる人
- (3)町税を滞納していない人
- (4)町内に事務所もしくは事業所を有する法人または個人事業者で施工をする人

事業予定のある方は、まずはご相談ください。

戦没者等のご遺族の皆さまへ特別弔慰金が支給されます

●**対象者**
戦没者等の**死亡当時のご遺族**で、令和7年4月1日において公務扶助料や遺族年金等の受給権者がいない場合に、残されたご遺族のうち、次の順番による先順位者の方お一人

- ①戦傷病者戦没者遺族等援護法の弔慰金受給権者
- ②戦没者等の子 ③父母 ④孫
- ⑤祖父母 ⑥兄弟姉妹
- ⑦①~⑥以外の三親等内の親族

※③④⑤⑥は、戦没者等との生計関係の有無等により順位が変わります。
※⑦は、戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

●**支給内容** 額面27万5千円、5年償還の記名国債

●**請求期限** 令和10年3月31日

●**請求窓口** 役場本庁舎、各支所に請求書類があります。

●**問合せ** 住民課 ☎76-2213

求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所
(役場まちづくり推進課内)
☎76-2864

※表示のない市外局番は「0854」です

一覧はHPよりご確認ください



加田の湯	76-3357
浴室管理、フロント受付、施設内外の清掃、買い出し、配達特になし(経験者優遇) ◎時962~1,050円	パート 1~2人

(福)友愛会	72-0214
看護職員(正社員) 看護師か准看護師 ◎月243,900~263,900円	フル 2人

介護職員(正社員) 未経験者歓迎・介護福祉士有資格者・経験者優遇 ◎月189,400~252,800円	フル 3人
---	-------

介護職員 経験者・介護福祉士有資格者は賃金面優遇 ◎時970~1,160円	パート 3人
---	--------

調理員 ◎月177,400~197,200円	フル 2人
---------------------------	-------

シーツ交換 ◎時970円	パート 1人
-----------------	--------

ふくま歯科医院	72-1500
歯科衛生士(正社員) 歯科衛生士 ◎月190,000~220,000円	フル 1人

株式会社ボウストフル・ファーマーミセスロビンフッド	76-9277
ホール係、調理補助 ◎時1,000円~	パート 1人

(株)いいなん	72-1080
バイオマス製造機の製造・農作物栽培作業 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎時970円	パート 1人

バイオマス事業・農業・営農組合手伝い 受託業務(家庭ごみ収集、分別作業) 普通自動車運転免許 ◎日8,000円~	フルタイム パート 2人
---	-----------------

バイオマス製造機の製造・農作物栽培作業(正社員) 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎月143,792~167,200円	フル 1人
---	-------

(株)後藤建設	72-0103
現場技術員(正社員) 建設機械運転経験者 ◎月212,000~252,000円	フル 1人

建築施工管理技術者(正社員) 1・2級建築施工管理技士 ◎月252,000~302,000円	フル 1人
--	-------

土木施工管理技術者(正社員) 1・2級土木施工管理技士 ◎月252,000~302,000円	フル 1人
--	-------

日本郵便(株)来島・頓原郵便局	76-2300
郵便業務(郵便物の集配)(正社員登用制度あり) 原付か自動二輪か普通自動車運転免許 ◎時1,070円~	パート 1人

窓口業務(正社員登用制度あり) ◎時990円~	パート 1人
----------------------------	--------

JA全農Aコープ(株)Aコープエルシー店	72-1221
商品づくりまたは補充・レジ等 ◎時962円	パート 2人

JA全農Aコープ(株)Aコープきじま・あかな店	76-2319
店舗業務 (青果・鮮魚・食品等の商品づくり・品出し・レジ等) ◎時962円	パート 3人

放課後子ども教室(教育委員会)	76-3944
放課後、保護者のお迎えを待つ児童の見守り(宿題等を教える必要はありません) 最初1~3日間程度は、就労体験(賃金あり)が可能 ◎時968円	パート 1人

三次高等技術専門学校 仕事体験入学者募集

実際の実習に近い内容で、各職種の仕事内容が体験できます。

●**日時** 1回目:7月31日(木) 2回目:8月19日(火)
午前9時半~12時

●**場所** 広島県立三次高等技術専門学校
(三次市十日市南6丁目14-1)

●**対象** 中学校、高等学校の生徒及び一般求職者

●**体験内容** ・自動車整備科 エンジン組み立て体験
・溶接加工科 バーベキューコンロづくり
・建築科 フォールディングチェアづくり
・介護サービス科 初心者向け介護体験

※内容は変更となることがあります。

●**応募期間** 1回目:6月30日(月)~7月29日(火)
2回目:6月30日(月)~8月15日(金)

●**応募方法**
二次元コードからお申込みください(先着順)。

●**問合せ** 三次高等技術専門学校
☎0824-62-3439



補助金の詳細はこちら

●**問合せ** 産業振興課 ☎76-2214

戸籍に氏名のフリガナが記載されます

令和7年5月26日に改正戸籍法が施行され、戸籍の記載事項に氏名の振り仮名が追加されることになりました。戸籍に記載される予定の振り仮名は、本籍地の市区町村長から順次通知されます。通知内容をご確認ください。※フリガナの届出に手数料はかかりません。

●**通知のフリガナが誤っている場合**
令和8年5月25日までに正しい振り仮名の届出が必要です。
届出方法:オンライン(マイナポータル)、郵送、窓口

●**通知のフリガナが正しい場合**
届出は不要です。

●**詐欺にご注意ください。**
届出をしなかったとしても、罰則や罰金はありません。振り仮名の届出にあたって、法務省や市区町村が金銭を要求することはありません。詐欺にご注意ください。

本制度について、詳しくは法務省ホームページでご案内しています。

●**問合せ** 法務省専用コールセンター
☎0570-05-0310



法務省ホームページ

(平日:午前8時30分~午後5時15分)(土、日、祝日、年末年始は除く)

募集詳細はこちら



令和6年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から

今日の人権標語

あいさつで
げんきのたねを
まきたいな

3年 吉田 花さん
家族名育枝さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない
明るいまちづくりをめざしましょう。

短歌 頼原公民館短歌教室 五月詠草

沢谷の石楠花まつり旧友と再会うれし楽しさ倍に 奥田 博昭
 忘れずに春の到来待ち兼ねて生命萌え出す花とりどりに 塩田美代子
 ハイテクの人間洗濯機どんな物夢路の機械活躍するか 景山 牧栄
 何となく気の滅いる日は牧水の旅の歌などつぶやいてみる 本間 啓美
 紫の花鈴なりの廃墟有り五月一度の賑わい添えて 景山 稔
 菜園に鍬入れたれば蛙出づ怪我のと無きかと暫し見送る 石川 隆
 誕生日十八本のキャンドルは照らし導く君の明日を 大野 順子
 教育と教養もなく日々暮れて我が狭庭にも鳩の来訪 安部 徳則
 高原の春たちまちにあわただし草木萌え立ち山盛り上がる 烏田 勝信



森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

森林セラピー通信

第3回森林セラピー研究会が飯南町で開催

5月16日(金)~18日(日)の3日間、飯南町を会場に「第3回森林セラピー研究会」が開催されました。(主催:NPO法人森林セラピーソサエティ)

東は東京都、西は宮崎県から21の方が飯南町にお越しくださいました。

森林セラピーに携わるガイドの方や一般企業の方まで幅広い皆さんが参加。セラピーの科学的根拠やガイドスキルを高める勉強会などを通して、飯南町の森をより深く知り・体感する機会となりました。

また、初めて飯南町を訪れたという方が大半で、琴引ビレッジ山荘での交流会では、飯南町ならではのお料理・お酒でのおもてなしに対して「飯南町、良いところですね~!」とのお声もあり、飯南町がより身近な場所になった方もおられたかもしれません。

私たちにとっては普段から見慣れた山や森ですが、五感で森に親しむ体験は特別な「癒し時間」に感じられました。これからも飯南町の美しい自然を活用した癒しが、多くの方に届くといいですね。



7月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頼原・志々	9日(水) 11日(金)
赤名	19日(土) 23日(水)
来島	16日(水) 18日(金)

雲南ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

雲南市 飯南町事務組合 ホームページ



[クリーン(株)] ☎72-1401(頼原地域)
[クリーン(株)] ☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

7月のごみ収集日

収集地区	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類 収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類 収集日	資源物 収集日
町区、敷波(古城・稲荷・田嶽下)	14日(月)	28日(月)	16日(水)
頼原 都加賀、奥畑、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田嶽西・田嶽東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・才谷1・才谷2)、志津見、角井	15日(火)	29日(火)	
川東、川西(南)	16日(水)	30日(水)	
赤来 赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	7日(月)	22日(火)	23日(水)
上赤名、下赤名、谷、上来島(上来島・安江・横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下来島	8日(火)	23日(水)	
上来島(杉戸)、野萱(塚原・三日市・野萱・下三日市)	9日(水)	24日(木)	

[いいしクリーンセンター] ☎72-9217

こんにちは
中山間地域研究
センターです。



オープンキャンパスで待っています!

**島根県立農林大学校林業科
森林のエキスパートをめざせ!**

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



ホームページはこちら

令和8年度学生募集

県では「木を伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を目指しています。近年、森林資源が利用期を迎え、原木生産量が増加している一方、現場では担い手が不足しており、人材の育成が急務となっています。

中山間地域研究センター内の農林大学校林業科では、将来の林業を担う優れた技術者を養成するため、林業に必要な資格の取得に取り組むとともに、植林から伐採・利用までの実践経験を積み、林業の基本となる知識や技術を習得していきます。(令和7年度在校生 1年生11人・2年生13人・早期養成2人)。

地元で学び、地元での就職を考えている人は、林業科への入学をご検討ください。

いざ来れ! 森林・林業の未来を切り拓く挑戦者たち

令和8年度 島根県立農林大学校 林業科学生募集

◆募集人員及び修業年限

募集人員	修業年限
20人	2年(早期養成コースは1年)

詳しくは農林大学校 ホームページから 学生募集要項・学校要覧等をご覧ください



農林大学校入試情報

◆入学試験の区分等

試験区分	願書受付	試験日	合格発表
学校長推薦入試 出身指定学校長推薦 出身学校長推薦A・B	R7年9月24日(水) ~10月8日(水)	10月30日(木) ※出身学校長 推薦A・Bのみ	11月19日(水)
一般入試	前期 R7年12月19日(金) ~R8年1月9日(金)	1月27日(火)	2月13日(金)
	後期 R8年2月16日(月) ~3月2日(月)	3月13日(金)	3月19日(木)
地域推薦入試※	第1回:R7年9月24日(水) ~10月8日(水)	第1回 10月30日(木)	第1回 11月19日(水)
	第2回:R7年12月19日(金) ~R8年1月9日(金)	第2回 1月27日(火)	第2回 2月13日(金)
	第3回:R8年2月16日(月) ~3月2日(月)	第3回 3月13日(金)	第3回 3月19日(木)
早期養成コース	第1回:R7年12月19日(金) ~R8年1月9日(金)	第1回 1月27日(火)	第1回 2月13日(金)
	第2回:R8年2月16日(月) ~3月2日(月)	第2回 3月13日(金)	第2回 3月19日(木)
試験場所	島根県立農林大学校 大田本校 (大田市波根町970-1)		

※印: 農業再生協議会・林業認定事業者・流域林業活性化センターの推薦

●オープンキャンパス2025“緑の学園”を開催

開催日: 令和7年7月23日(水)、7月26日(土)
 時間: 10時~14時
 場所: 島根県立農林大学校 飯南キャンパス
 (参加無料、要事前申込み)
 入学試験、オープンキャンパスの詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

問合せ 島根県立農林大学校 ☎0854-85-7012

2025
7

まちのスケジュール

■教育 + 健康・保健 *文化・体育 ◆その他

1 火	■ 来島小授業公開日
2 水	+ 住民健診(さつき会館) ■ 中学校職場体験(~3日)
3 木	+ 住民健診(来島交流センター)
4 金	+ 住民健診(来島交流センター)
5 土	◆ 半夏まつり
6 日	
7 月	
8 火	
9 水	+ 乳がん検診(午前:赤名改善センター 午後:来島交流センター) + オレンジカフェ(交流センターとんぼら)
10 木	◆ 行政相談(保健福祉センター)
11 金	
12 土	
13 日	
14 月	
15 火	+ オレンジカフェ(赤名福島邸)
16 水	■ 頓原中少年の主張校内大会
17 木	+ 1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)
18 金	■ 小中学校終業式
19 土	
20 日	◆ しまね家庭の日 ◆ ストーリーテリング(中央図書館) ◆ やまめのつかみ取り大会(ふれあい養魚場)
21 月 海の日	* 飯南ヒルクライム2025(美郷町~飯南町職員駐車場) ■ 島根県中学校総合体育大会(卓球:県立浜山体育館)
22 火	
23 水	■ 島根県中学校総合体育大会(バレー:県立浜山体育館)
24 木	■ 飯南高終業式 + 乳がん検診(赤名改善センター)
25 金	◆ はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 * レッツチャレンジアウトドアカヌー教室(カヌーの里おおち) + オレンジカフェ(つがか工房)
26 土	+ オレンジカフェ(上赤名会館) ◆ とんぼらふる里夏祭り
27 日	
28 月	+ 子宮がん検診(午前:赤名改善センター 午後:来島交流センター)
29 火	◆ 赤名峠清掃活動
30 水	+ ほっと。Café 食講座(来島保健センター)
31 木	◆ 固定資産税納期限・国民健康保険料納期限 後期高齢者医療保険料納期限

(毎週火・水・金曜日) + ほっと。Café(来島保健センター)

町の人口 4,297人(前月比+1人) 世帯数1,979戸 R7.6.1 現在



友達に家族。多くの人のおかげで海外でも野球に挑戦できたと話す高橋さん。現在も草野球チームに所属し、野球を続けています。中学校では保健体育を指導。「運動が得意な生徒も、体を動かすのが楽しいと思える授業にしたい」と話していました

「野球も続けたいし、実はお花屋さんにも興味があった。やりたいことがたくさんあって、進路を決めかねていました」と大学時代を振り返る高橋克之さん(29歳)。大学4年生の時、海外で野球に挑戦したいと渡米。アメリカのチームに所属し、MLB傘下の球団などとの試合に臨

みました。チームに日本人は高橋さん一人だけ。チームメイトは英語を聞き取れるようゆっくり話してくれたり、休日には一緒に釣りに出かけたりと、優しく迎え入れてくれたといいます。一方で、試合で結果を残さないと解雇になる厳しい環境。「体格ではチームメイトに敵わない。試合に出してもらえないよう、守備や盗塁など自分にしかできない強みを生かすことを大切にしています」と高橋さん。試合の合間にはトレーニングを積み、自主練習も欠かさなかったそうです。

アメリカに続き、カナダでも野球に挑戦していたところに転機が。大学の友人に誘われ、臨時的に広島県の中学校教員として勤めることになりました。「子どもたちは1年で大きく成長する。自分の関わり方で、子どもたちの成長をサポートできることにやりがいを感じました」と高橋さん。たくさんあった「やりたいこと」の中から、教員の道を選びました。「相談しやすく、話しやすい。あの人のいたら温かい気持ちになれる、と感じてもらえる教員でありたい」と話していました。

「ルーツいいなん」47

このまちに住んでようと、なかろうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよごまでも。

好きなことに挑み続ける



たかはし かつゆき 高橋 克之

飯南町出身。飯南高校卒業後、吉備国際大に進学。トライアウトプログラムにより、野球選手としてアメリカ、カナダのチームでプレーした経験を持つ。現在は中学校教員として勤務(岡山県在住)。

今日の表紙

6月8日に行われたポピー祭に、家族と共に遊びに来た那須瑠心さん(上島)。

広島県から来たいとこ達と、花に手を伸ばしたり、草むらに潜むバツタを追いかけたり。鮮やかに咲いたポピーに囲まれ、家族で賑やかな1日を過ごしていました。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ